

皆様の環境保全活動に役立つ情報を毎月お届けします



センターだより

19号(2009年11月)

発行 宮崎県環境情報センター
電話 0985(23)0322

今日のトピックス

～こどもエコクラブ事業～



宮崎県こどもエコクラブ交流会



今年度の宮崎県こどもエコクラブ交流会は、11月7日に日南市堀川夢ひろばで開催された「宮崎やまんかん祭り」会場と南郷町の『ウッドエナジー協同組合』で実施され、3クラブ30名の皆様と楽しい一日を過ごすことが出来ました♪ その様子を2ページにわたってご紹介します。

宮崎やまんかん祭り(壁新聞発表)



なかよしチャレンジ発表



地球ふれあい家族発表



潮っ子ウミガメ隊A発表



潮っ子ウミガメ隊B発表

みどりの図書館情報

《おすすめの一冊!》

「月の地形 ウォッチングガイド」
白尾元理著 誠文堂新光社



「月の地形?」と思われるかもしれませんが、月にも「山」「海」「入江」「峠」「崖」等様々な名前のついた場所があるんですね。何枚もの望遠鏡写真を見ながらその地形の成り立ちについての説明を読んでいくと今度あなたが月を見あげる時、神秘的な月にまたひとつ別の見方が加わるのでは!?

宮崎県立図書館



環境情報センター紹介

～ 写真展示コーナー ～



センターの写真展示コーナーを一新しました。「里の秋」と題して宮崎植物研究会の齊藤政美氏にご提供いただいた草花の写真を展示しております。



皆様、ぜひ一度ご覧になり、里の秋を感じてみませんか♪

ウッドエナジー協同組合

まずは南郷町にあります『ウッドエナジー協同組合』で工場見学をしました。工場内では4班に分かれて「集成材や加工製品を作る施設」と「木質バイオマス発電施設」を見学しました。



原木置き場



チップ置き場



有馬先生のお話

テクノセンター（昼食&壁新聞制作）

テクノセンターで昼食を取ったあと、クラブごとに壁新聞制作をしました。



「地球ふれあい家族」



「なかよしチャレンジ」



「潮っ子ウミガメ隊」

宮崎やまんかん祭り（壁新聞発表&杉コレクション2009 見学）

「宮崎やまんかん祭り」会場のメインステージで壁新聞発表を行い（写真は1ページ目）、その後は自由時間として各自祭りを楽しみながら『杉コレクション2009』や、釘を一本も使わず木組み出来ている『夢見橋』を見学しました。



杉コレクション
「森のおっばい海へゆく」
（どんぐり）



杉コレクション&夢見橋
「杉のかざぐるま」



堀川運河
「弁甲いかだ流し」

油津駅（日南線観光特急「海幸山幸」見学）

油津駅に停車している短い間でしたが、「海幸山幸」の見学をしました。



県内で環境保全に取り組まれている団体（エコ幼稚園・保育所/こどもエコクラブ/
環境保全団体）をご紹介します！

エコ幼稚園・保育所



(園名) のぞみ保育園

(市町村名) 新富町

(主な取り組み)

- ①野菜・果物の栽培(食育)(びわ・柿・みかん)
- ②給食の食器の汚れ取り(ヘラの利用)
- ③雨水の利用

(コメント)

園舎裏の野菜や果物・雨水ジョーロで
エコにも配慮して子ども達の元気な笑顔
と一緒に頂いています。



(園名) 岩崎保育園

(市町村名) 西都市

(主な取り組み)

- ①ペットボトルキャップ・牛乳パック回収
- ②地域の公園や周辺のゴミ拾い
- ③栽培活動(芋・季節の野菜等)

(コメント)

廃材利用や節電節水等、「もったいない」
気持ちや物を大切に^{する}心を育て、エコ意識
の高い人に育つことを目標にしています。





(クラブ名) 地球ふれあい家族
 (市町村名) 高鍋町
 (主な取り組み)
 ①地球の美化活動(ごみ拾い等)
 ②家庭内のエコ(節電、節水等)
 ③家庭菜園研究中(例としてネギ水耕栽培中)
 (コメント)
 「できることから始めよう」を家族の目標として特に節電大臣の祐基、節水大臣の千亜季が中心となり、優しい地球をめざしています。

環境保全団体



(団体名) 県北植物愛好会
 (市町村名) 延岡市
 (主な取り組み)
 ①県北地域の植物生態観察、調査研究
 ②ハマボウを中心とする自然保護活動
 ③研究発表会
 (コメント) 平成9年 会員凡そ40人で発足し、
 県北地域の特色ある場所での観察会を定期的
 に実施。会員には、植物・鳥類・昆虫の専門
 家の外、薬剤師・園芸研究家等が含まれ、
 多彩な活動をしている。

環境保全アドバイザー



《派遣実施例》
 左の写真は9月27日に西都原で実施された「財団法人宮崎県公園協会」主催の「秋の七草鑑賞会」の様子です。講師は滝一郎先生です。
 講座では、まず西都原の草原を歩きながら野草観察を実施、次に「このはな館」に場所を移して秋の七草についてのお話を聞き、最後に地元ボランティア婦人会が用意された秋の味覚を参加者全員でいただいたそうです。アンケートによると、ほとんどの参加者が「きてよかった」「次回も参加したい」と言われており、非常に好評だったということです。